令和８年度　第２回　生涯学習推進協議会
会議要旨

１　開会

２　会長あいさつ

３　議事

⑴　生涯学習に関するアンケート結果について

事務局が生涯学習に関するアンケート結果について説明した。

（委　員）　アンケートの対象年齢を１６歳以上に下げたことに違和感がある。なぜそうしたのか。計画に市民の意見をどこまで取り入れるかは慎重に判断して欲しい。

（事務局）　生涯学習推進本部会議でこどもの意見も聞くと決められた。１６歳未満のこどもの意見はワークショップで聴取した。こどもの意見も計画に生かしていきたい。

（委　員）　前回のアンケートと項目に違いはあるのか。

（事務局）　前回のアンケートと基本は同じ。第１回の協議会でいただいた意見を反映させて作成した。

⑵　第３次京田辺市生涯学習推進基本計画見直し案について

①　資料３について

（委　員）　施策の内容に記載の自己評価はどのようにしたのか。自己評価が目標を下回っている田辺公園野外ステージの利用と同じ施策にあるギャラリーかんなびの利用について教えて欲しい。

（事務局）　自己評価は担当課が行った。自己評価が目標を下回っているのは、田辺公園野外ステージの利用のみ。申請が０件だったため目標を下回ると評価している。ギャラリーかんなびは例年どおりの使用回数だが、使用団体が固定化しており、新規開拓できていないのが課題になっている。

（委　員）　評価の方法を教えて欲しい。

（事務局）　担当課が自己評価している。事業を実施していたら概ね目標どおりとなり、新規で事業をしていれば目標を上回るになる。事業が実施できないと目標を下回るとしている。

（委　員）　担当部署は事業に対して努力しているが、アンケート結果ではもっとイベントをして欲しい、場所が欲しいとなっている。需要が十分行き届いているのに、市民はまだまだ足りないと感じている。充足しているのにもっと増やすとなると、予算の無駄になる。市民のニーズに一つずつ対応していたら過剰な供給になる。市民のニーズと現状とのギャップを計画にどう反映させていくかは慎重にして欲しい。

② 資料４．５について

（委　員）　視点４の学習機能の高度化について、イメージが漠然としていてよく分からない。充実化や多様化など控えめな表現の方が良いのではないか。

（事務局）　分かりやすい言葉を検討する。

（委　員）　基本目標４の支えるは非常に良い。生涯学習をする上で支えるということだが、災害の際の自助、共助もこれから考えていく必要がある。

（委　員）　目標値は以前からのものなのか。

（事務局）　第３次計画の策定時に決めた数値。基本目標４の目標値は、次回会議までに決める。

（委　員）　行政は環境や基盤整理が求められる。誰が誰を支えるのか。支える側と支えられる側がある。行政が基盤を整理して市民を支えるが、市民が施設を使用したら行政が市民を支えたといえるのか。生涯学習のリーダーも市民を支える。場所があって人がいて色々な取組があって、ハードとソフトで市民を支えていく。誰が誰を支えるのかのイメージを明らかにするとより良い指標が出てくるかもしれないので検討して欲しい。

（委　員）　基本目標４の現状値の出し方を教えて欲しい。

（事務局）　アンケートの「どのような場所で学習をしてきたか。」で自宅、個人宅等以外の市内施設を利用した人の割合から算出している。

（委　員）　分館公民館のように歩いて行ける気軽に参加できる場所が必要ではないか。区・自治会単位での集まりを推進して欲しい。

（委　員）　高齢化で自治会を脱退する人が多い。若い人が少ないので、自治会の未来が見えない。

（委　員）　京田辺市は路線バスが少ない。駅までいく足がない。複合型公共施設ができるが、ＪＲの駅から現地までいくバスを作り、市民が公平に利用できるようにして欲しい。

（委　員）　老人クラブも退会者が多い。楽しい催しをして、入会できる年齢を下げて、入りたくなる組織にしたい。

４　閉会